



## ちよっとためになる お金 の話



vol.36



こんにちは。子育て世代専門のFP(ファイナンシャルプランナー)角山です。

Vol.34のコラムで、2年前より高校の授業で金融教育が始まったり、NISAやiDeCo、2000万円問題やマイナズ金利など、少し前からお金に関してテレビや雑誌などで騒がれるようになりましたとお伝えしました。

この背景には時代の変化があり、退職金や年金などが挙げられますとお話しました。年金の概要は前回お伝えしましたが、年金に関して少し前にある報道がありました。

第1号被保険者が加入する国民年金保険料の納付期間を変更した時の影響を試算するとの報道がありました。

現行・20歳以上60歳未満 40年間

これを65歳までの45年間に延長した場合の影響を試算するそうです。

納付期間が5年間延びることにより、約100万円の負担増になります。納付期間が延びたことにより65歳以降の国民年金の年金額はおそらくわずかしか増えず、老後の生活を補うほどではないかと思えます。

こういう報道を聞くと将来に向けて不安が残ります。よって、NISAやiDeCoの活用がクローズアップされるようになったのではないかと思います。

この他にも

- パートや短時間労働者の厚生年金の加入する要件を緩和
  - 65歳以降の賃金に応じた厚生年金が減る『在職老齢年金制度』の見直し
  - 厚生年金で高所得者が支払う保険料の上限引き上げ
- などが挙げられます。
- この辺りは出生数の減少が関わってきていると思います。

前回お伝えしましたが、日本の年金は『賦課方式』を導入しており、我々が払っている年金保険料は将来の積立ではなく、現在、年金をもらっている高齢者の年金の原資になっています。

出生数が減ることにより若者が減り、保険料を払う人が減り、もらえる年金が減ると言う流れになります。どのような状況になってもいいように準備はした方が良さそうです。

最後までお読み頂きましてありがとうございます。来月も良かったら見てくださいますね。

HUG HUG特典 無料相談は要予約

角山先生と1対1で相談(相談時間:1時間 無料)

&

家計診断(ライフプラン)作成プレゼント



無料相談をご希望の方は、メールにて受け付けています。

①氏名 ②メールアドレス ③電話番号 ④ご希望の日時を明記し、「info@hughug-town.com」までお送りください。

角山 大尚

約21年前より独立し、ファイナンシャルプランナーとしてセミナーや個別相談会を全国各地で開催。個別で勉強して身につけた知識をどう実生活に活かしていくのかをアドバイスしている。

